

NY マーケットレポート (2015 年 3 月 16 日)

NY 市場では、序盤に発表されたニューヨーク連銀指数、鉱工業生産、住宅市場指数いずれも市場予想を下回る結果となったことを受けて、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。また、欧米の株価が大きく上昇する動きとなったことから、安全資産とされる円を売る動きが優勢となり、ドル円・クロス円は堅調な展開が続いた。ただ、米国の FOMC を控えて様子見ムードも強まっており、値動きは限定的となった。

2015/3/16 (月)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	121.24	121.44	121.17
EUR/JPY	127.67	127.84	127.15
GBP/JPY	179.12	179.25	178.92
AUD/JPY	92.70	92.88	92.37
EUR/USD	1.0531	1.0549	1.0479

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	121.44	121.21
EUR/JPY	127.97	127.65
GBP/JPY	179.61	179.12
AUD/JPY	92.68	92.53
EUR/USD	1.0553	1.0523

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	19246.06	-8.19
ハンセン指数	23949.55	+126.34
上海総合	3449.30	+76.39
韓国総合指数	1978.33	+1.54
豪ASX200	5797.66	-16.88
インドSENSEX指数	28437.71	-65.59
シンガポールST指数	3376.04	+13.27

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6804.08	+63.50
仏CAC40	5061.16	+50.70
独DAX	12167.72	+266.11
ST欧州600	400.18	+3.57
西IBX35指数	11114.70	+80.90
伊FTSE MIB指数	22930.92	+217.33
南ア 全株指数	52139.15	+340.41

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	121.41	121.46	121.10
EUR/JPY	128.27	128.79	127.70
GBP/JPY	179.97	180.21	179.15
AUD/JPY	92.74	93.04	92.62
NZD/JPY	89.52	89.86	89.20
EUR/USD	1.0565	1.0620	1.0526
AUD/USD	0.7639	0.7680	0.7635

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17977.42	+228.11
S&P500	2081.19	+27.79
NASDAQ	4929.51	+57.75
その他主要株	終値	前日比
カナ トロント総合	14862.76	+131.26
ブラ ボルサ指数	休 場	
ブラ ボベスパ指数	48848.21	+252.40

*メキシコ市場はBenito Juarez Dayのため休場

3/17 経済指標スケジュール
09:30 【豪】3月豪中銀議事録
09:30 【シンガポール】2月輸出[除石油]
14:00 【日】1月景気一致CI指数
14:00 【日】1月景気先行CI指数
16:00 【欧】2月新車登録台数[EU-27]
17:00 【南ア】4Q経常収支
17:30 【香港】2月失業率
18:00 【ノルウェー】2月貿易収支
19:00 【欧】4Q雇用者数
19:00 【欧】2月消費者物価指数
19:00 【欧】3月ZEW景況感調査
21:00 【トルコ】政策金利発表
21:30 【カナダ】1月製造業出荷
21:30 【米】2月住宅着工件数
21:30 【米】2月建設許可件数

コモディティー	終値	前日比
NY GOLD	1153.20	+0.80
NY 原油	43.88	-0.96
CME コーン	379.00	-1.50
CBOT 大豆	969.25	-4.75

米国債利回り	本 日	前 日
2年債	0.65%	0.66%
3年債	1.05%	1.07%
5年債	1.55%	1.59%
7年債	1.88%	1.92%
10年債	2.07%	2.12%
30年債	2.65%	2.70%

3/17 主要会議・講演・その他予定
・黒田日銀総裁 定例会見
・FOMC ～18日

(出所: SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 121.31 ユーロ/円 127.72 ユーロ/ドル 1.0528

21:00

欧州株式市場

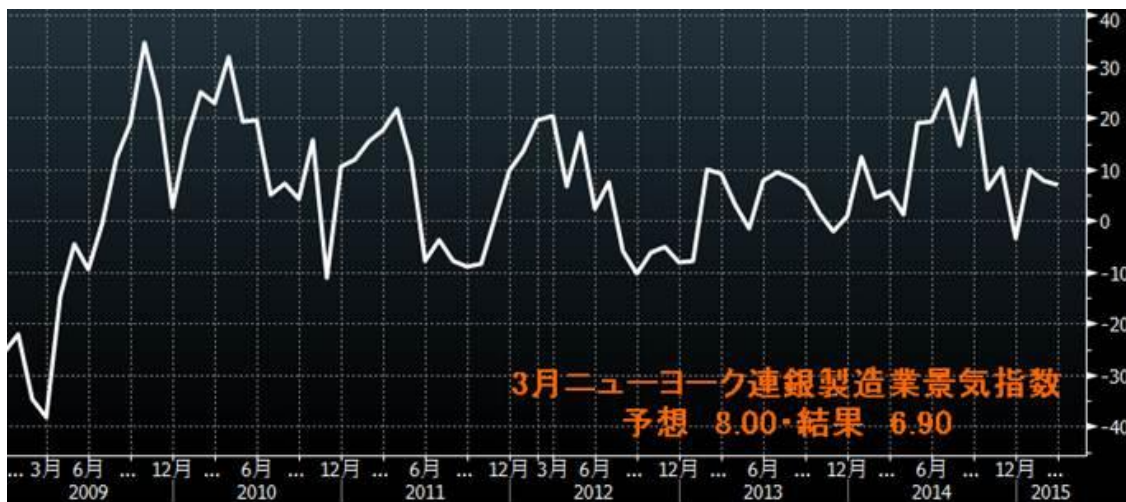
米主要株	株価	前日比
英 FT100	6776.09	+35.51
仏 CAC40	5049.09	+38.63
独 DAX	12037.85	+136.24

(出所: SBILM)

21:30

《 経済指標の結果 》

3月ニューヨーク連銀製造業景気指数 6.90 (予想 8.00・前回 7.78)



(出所: ブルームバーグ)

経済指標データ

《 NY 連銀製造業景気指数 》

現状)

	3月	2月	1月	12月	11月	10月
業況	6.90	7.78	9.95	-1.23	10.33	8.55
仕入価格	12.37	14.61	12.63	10.42	10.64	11.36
販売価格	8.25	3.37	12.63	6.25	0.00	6.82
新規受注	-2.39	1.22	6.09	0.39	9.12	-1.01
出荷	7.93	14.12	29.59	2.55	10.61	2.67
在庫	-5.15	-2.25	-7.37	-11.46	0.00	2.27
雇用者数	18.56	10.11	3.68	8.33	8.51	10.23

6ヵ月先の見通し)

	3月	2月	1月	12月	11月	10月
業況	30.96	25.58	48.35	39.31	46.84	42.39
仕入価格	91.96	26.97	33.68	40.63	41.49	42.05
販売価格	12.37	5.62	15.79	32.29	25.53	26.14
新規受注	26.31	28.61	41.44	38.85	47.69	43.24
出荷	28.71	30.34	40.57	37.75	44.78	43.07
在庫	-3.09	-4.49	1.05	9.38	4.26	2.27
雇用者数	28.87	24.72	31.58	20.83	24.47	12.50

同指標はゼロが景況の分岐を示す

21:30

◀ 経済指標の結果 ▶

1月カナダ国際証券取扱高 57.3億CAD（予想 -20億CAD・前回 -135.4億CAD）
 前回発表の-135.5億CADから-135.4億CAD

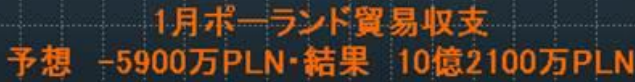


22:00

◀ 経済指標の結果 ▶

1月ポーランド経常収支 5600万PLN（予想 -9億2000万PLN・前回 -10億0500万PLN）
 1月ポーランド貿易収支 10億2100万PLN（予想 -5900万PLN・前回 -6億3300万PLN）





(出所:ブルームバーグ)

22 : 15

《 経済指標の結果 》

2月米鉱工業生産（前月比） 0.1%（予想 0.2%・前回 -0.3%）

前回発表の 0.2%から-0.3%に修正

2月米設備稼働率 78.9% (予想 79.5%・前回 79.1%)

前回発表の 79.4%から 79.1%に修正



2月米設備稼働率
予想 79.5%・結果 78.9%

(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《米鉱工業生産・設備稼働率》

	2月	1月	12月	11月	10月	9月
鉱工業生産	0.1	-0.3	-0.2	1.2	-0.1	0.7
製造業	-0.2	-0.3	-0.1	1.2	0.1	0.2
鉱業	-2.5	-1.3	2.0	-0.3	-1.1	0.9
最終製品	0.4	-0.2	-0.8	1.8	0.0	0.6
原材料	-0.2	-0.4	0.2	0.8	-0.3	0.8
設備稼働率	78.9	79.1	79.4	79.8	79.1	79.4
製造業	77.3	77.6	77.9	78.1	77.3	77.4
鉱業	84.6	87.2	88.5	87.5	88.4	90.2

22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17828.49	-79.18
ナスダック	4892.12	-20.36

(出所: SBILM)

23 : 00

《経済指標の結果》

3月米 NAHB 住宅市場指数 53 (予想 57・前回 55)



(出所: ブルームバーグ)

指標結果データ

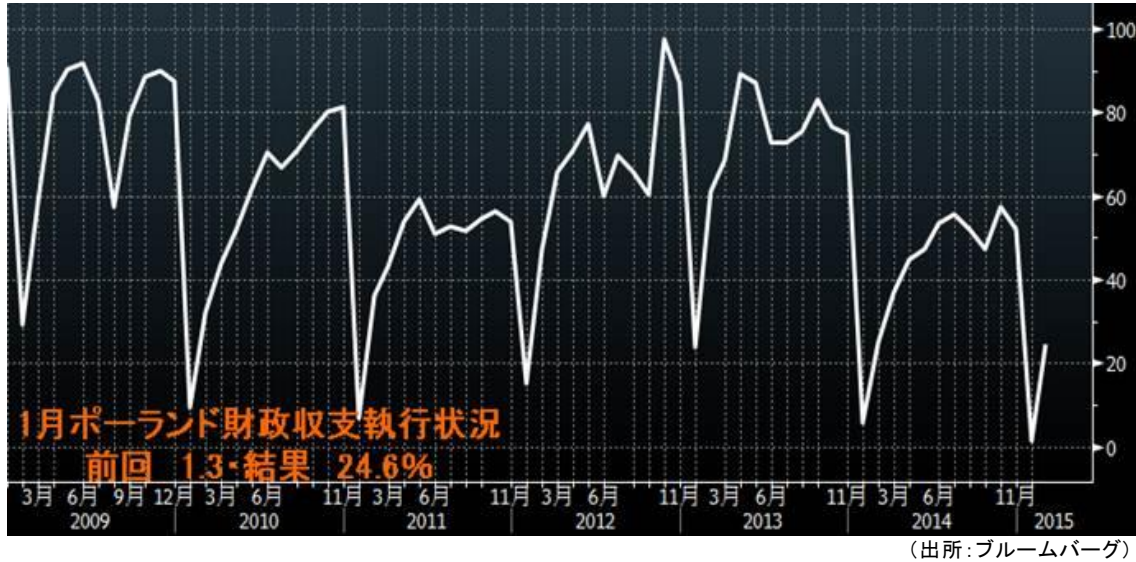
《NAHB 住宅市場指数》

	3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月
住宅市場指数	53	55	57	58	58	54	59
現状指数	58	61	62	62	62	57	63
見通し指数	59	60	60	64	66	64	67
顧客動向指数	37	39	44	46	45	41	47

23 : 00

≪ 経済指標の結果 ≫

1 月ポーランド財政収支執行状況 24.6% (前回 1.3%)



23 : 30

≪ NY 株式市場 序盤 ≫

序盤の株式市場は、円やユーロに対するドル高が一服したことで、米企業の収益悪化懸念が和らぎ、買いが先行した。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前週末比で 185 ドル高まで上昇する動きとなった。

0 : 10

≪ ECB ≫

- ・「97.5 億ユーロ決済ーパブリックセクター購入の下」
- ・「ABS 購入 37 億 5000 万ユーロ決済」
- ・「カバード債購入 569 億 5000 万ユーロ決済」

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 17952.69 (+203.38) 、 S&P500 2074.30 (+20.90) 、 ナスダック 4917.95 (+46.19)

≪ NY 債券市場 ・午前 ≫

序盤のニューヨーク債券市場は、最近の弱い米経済指標やドル高の進行を受けて FRB が FOMC で利上げに慎重な姿勢を示すとの見方が広がり、買いが先行した。また、米鉱工業生産指数やニューヨーク連銀製造業景況指数などが市場予想を下回ったことも、買い材料となった。

午前の利回りは、30 年債が 2.66% (前週末 2.70%) 、10 年債が 2.08% (2.12%) 、7 年債が 1.88% (1.92%) 、5 年債が 1.56% (1.59%) 、3 年債が 1.05% (1.07%) 、2 年債が 0.64% (0.66%) 。

◀ 経済指標のポイント ▶

(1) 3月ニューヨーク連銀製造業景気指数は、6.90となり、市場予想の8.00を下回り、前回結果の7.78も下回る結果となった。構成指数では、仕入れ価格指数が12.37（前月14.61）、新規受注は-2.39（1.22）、週平均労働時間は5.15（-1.12）、在庫は-5.15（-2.25）といずれも前月から低下したが、雇用者数は18.56（10.11）、6ヵ月先の見通しを示す期待指数は30.72（前月25.58）と前月を上回る結果となった。

(2) 2月の米鉱工業生産は、市場予想の+0.2%を下回る+0.1%となったものの、3ヵ月ぶりにプラス転じた。自動車などが低調だった製造業や、原油安で石油・ガスの掘削などが落ち込んだ鉱業はいずれもマイナスとなったものの、寒い日が続く暖房需要の増えた電力・ガスが全体を押し上げた。

①生産指数の内訳は、製造業が-0.2%となり、主力の自動車・同部品は-3.0%と3ヵ月連続でマイナスだった。電力・ガスは+7.3%と大きく伸びた。鉱業は-2.5%となった。

②設備稼働率は、市場予想の79.5%を下回り、前月比0.2ポイント低下の78.9%と、昨年2月以来1年ぶりの低水準となった。

(3) 3月のNAHB（全米ホームビルダー協会）住宅市場指数は、市場予想の56を下回る53となり、前月の55からも低下し、8ヵ月ぶりの低水準となった。当該指数では、50を上回ると住宅建設業者の多くが現況を「良い」とみていることを示す。

①NAHB会長は「同指数はわずかに低下したが、プラス圏にとどまっている。春の購入シーズンの進展とともに、市場は改善すると見込まれる」と指摘した。

②一戸建て販売の現況指数は、58（前月61）に低下し、昨年10月以来の低水準、購買見込み客足指数は37（39）と、9ヵ月ぶりの低水準に落ち込んだ。向こう6ヵ月の販売見通しは59と前月（59）、昨年6月以来の最低となった。

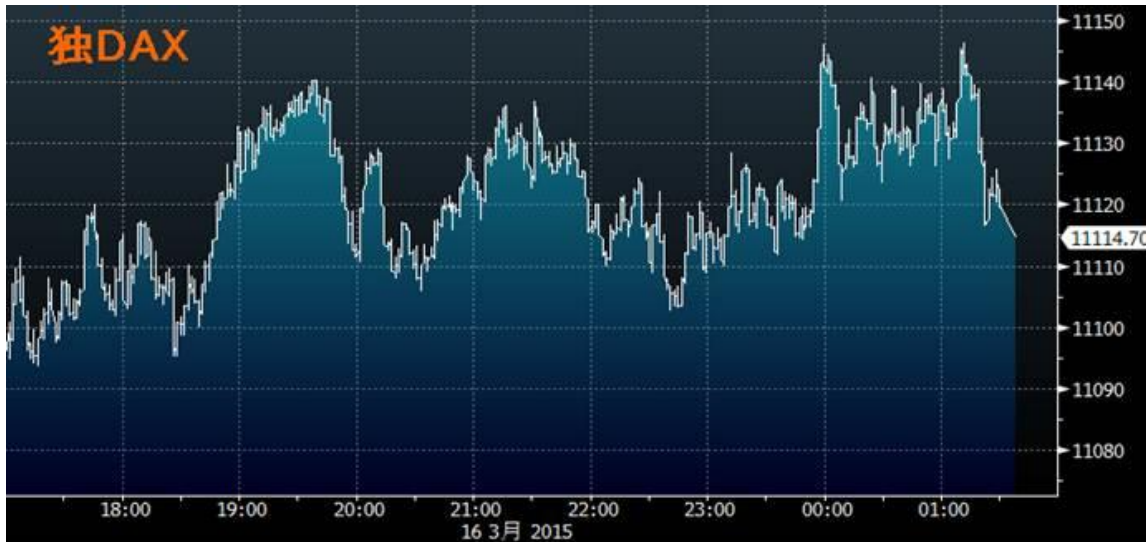
③地域別では全米4地域中、3地域で指数は低下。特に西部では11ポイント下げた。北東部と南部でも低下。中西部では上昇した。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6804.08	+63.50
仏 CAC40	5061.16	+50.70
独 DAX	12167.72	+266.11
ストック欧州 600 指数	400.18	+3.57
ユーロファースト 300 指数	3186.77	+34.75
スペイン IBEX35 指数	11114.70	+80.90
イタリア FTSE MIB 指数	22930.92	+217.33
南ア アフリカ全株指数	52139.15	+340.41

（出所：SBILM）

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、ECBによる量的金融緩和策を背景に、主要株価が序盤から堅調な動きとなった。特に、独DAXは、量的金融緩和でユーロ安が進むとの思惑から輸出企業を中心に全面高となり、初めて12000を超えて最高値を更新した。



(出所:ブルームバーグ)

《欧州のポイント》

①ギリシャ財務省の報道官が、IMFに予定通り約5億8400万ユーロ（約750億円）を返済した。今週はこれ以外にも返済期限が到来するが、流動性を高める用意があり、賃金や年金の支払いにも支障は生じないと政府は説明していた。ギリシャは、6日に3億1000万ユーロ、13日に3億4000万ユーロを返済している。今月の返済予定額は15億ユーロで、20日には3億5000万ユーロを支払う予定。ギリシャのツィプラス首相は、総額2400億ユーロの救済プログラムからの追加融資の実行をユーロ圏に求める一方、手元資金を取り崩して急場をしのいでいる。

②トルコ財務省によると、2月の財政収支は23億6000万トルコリラ（9億ドル）の赤字、基礎的財政収支は45億3000万リラの黒字となった。1月はそれぞれ38億リラの黒字、88億リラの黒字だった。財務相によると、2月は季節的なインフラおよび金利支出により赤字になった。金融市場の変動や低調な内需にもかかわらず、歳入は引き続き堅調で、内需の回復により今後数カ月で財政収支は改善が見込まれるという。

③トウスクEU大統領は、ギリシャがユーロ圏を離脱した場合のリスクを過小評価しないよう警告した。欧州6紙とのインタビューで、「わたしはユーロ圏の結束を維持することに力を尽くしている。ドイツで一部の専門家は『グリグジット（Grexit、ギリシャのユーロ離脱）』が解決策だと述べているが、わたしは何もいいことはない」とみている。この愚かなシナリオを回避する必要がある」と語った。

3:50

《 要人発言 》

ドラギ ECB 総裁

- ・「ユーロ圏の経済状況は着実に改善している」
- ・「原油安・ECBの刺激策・構造改革、経済を下支え」
- ・「見通しに楽観的、改革の推進必要」

3:40

NY金は、中心限月が前日比0.80ドル高の1オンス=1153.20ドルで取引を終了した。

4 : 45

NY 原油は、中心限月が前日比 0.96 ドル安の 1 バレル=43.88 ドルで取引を終了した。

5 : 00

《 経済指標の結果 》

1 月対米証券投資[ネット TIC フロー] 883 億 USD (前回 -1768 億 USD)

前回発表の-1748 億 USD から-1768 億 USD に修正

1 月対米証券投資[ネット長期 TIC フロー] -272 億 USD (前回 392 億 USD)

前回発表の 354 億 USD から 392 億 USD に修正



(出所:ブルームバーク)

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1153.20	+0.80
NY 原油	43.88	-0.96

(出所:SBILM)

《 NY 金市場 》

NY 金は、ドルが主要通貨に対して下落したのにつれて、ドルの代替資産とされる金の買いが優勢となった。ただ、FOMC を控えて警戒感も根強く、上値は限定的となった。



(出所:ブルームバーク)

<< NY 原油市場 >>

NY 原油は、米国産原油の在庫が増加していることに加え、イランの核問題をめぐる協議が合意に至れば対イラン経済制裁が解除され、輸出が増えるとの観測も相場を圧迫した。一時、1 バレル =42.85 ドルまで下落し、2009 年 3 月以来約 6 年ぶりの安値水準まで下落し、終値ベースでも 2009 年 3 月以来の安値となった。



(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17977.42	228.11	17988.50	17751.24
S&P500 種	2081.19	27.79	2081.41	2055.35
ナスダック	4929.51	57.75	4929.94	4889.09

(出所:SBILM)

<< 米株式市場 >>

米株式市場は、前週末に下落した反動で買いが入ったことや、欧州株が上昇したことを背景に、主要株価は堅調な動きとなった。また、円やユーロに対するドル高が一服したことで、米企業の収益悪化懸念が和らいだことも影響して、堅調な展開が続いた。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、終盤には一時前週末比 239 ドル高まで上昇する動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	121.41	121.46	121.10
EUR/JPY	128.27	128.79	127.70
GBP/JPY	179.97	180.21	179.15
AUD/JPY	92.74	93.04	92.62
NZD/JPY	89.52	89.86	89.20
EUR/USD	1.0565	1.0620	1.0526
AUD/USD	0.7639	0.7680	0.7635

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標が市場予想を下回る結果となったことから、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。その後は、欧米の株価が大きく上昇する動きとなったことから、円が主要通貨に対して軟調な動きとなり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。



(出所: ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。